

2013年政策フォーラム 活動報告書

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

文責：関本洋介

【日時】

2013年11月30日(土) 12月1日(日)

【会場】

11月30日：明治大学駿河台キャンパス・日本大学経済学部キャンパス・横浜市立大学金沢八景キャンパス

12月1日：日本赤十字看護大学広尾キャンパス

【参加】

23大学55研究会650名 28分科会 131チーム

【概要】

政策フォーラムは ①半年間かけて立案した政策を社会に広く発信していく機会を設けること ②社会に対して意識の高い学生が一堂に会して問題についての知識・考え方を共有すること を目的として開催されました。

【具体的内容】

1日目は各分科会に分かれて、発表20分→質疑応答5分→ゲスト様の講評10分を各チームの持ち時間として政策提言の発表を行いました。発表は事前に提出された最終論文をもとにパワーポイントを用いて行われました。

2日目は特別論文審査委員会の審査を経て選出された5つの研究会(慶應義塾大学 廣瀬研究会・慶應義塾大学 樋口研究会・慶應義塾大学 土居研究会・大阪大学 赤井研究会・明治大学 千田研究会)が、政策として最もアピール力がある研究会に授与されます政策提言賞を目指して決勝プレゼンテーションを行いました。また、最優秀賞・分科会賞の発表も併せて行われました。

【責任者総評】

1日目：今年度は三会場にまたがる分割開催という形を取りましたが、ゲスト様と参加者のご協力のおかげで、大過なく終了することが出来ました。ゲスト様からは年々レベルが上がっているというお話を頂くほど各分科会においてレベルの高い議論が行われ、そのことはそれぞれの分野において熱心な研究を行った参加者にとって刺激的な経験となったのではないかと考えております。また、ゲスト様からは大変熱心にご意見を頂き、今後も研究を進めていく参加者にとって指針となったと考えております。

2日目：特別論文審査委員会において選出された5チームによる発表が行われ、大阪大学赤井研究会が政策提言賞、明治大学千田研究会が最優秀賞を受賞しました。いずれのチームもレベルの高い発表であり、それぞれの参加者は社会の様々な問題に対する意識を共有することが出来ました。ゲスト様は真摯に学生の政策提言に向き合ってください、政策を実行する立場の視点からの大変有意義なご講評を頂きました。

2日間通じて、上記の目的を達するイベントを開催できたと思っております。

それぞれの参加者・ゲスト様にとってISFJ2013の活動が刺激的で有意義なものであり、現在の日本を考える機会となりましたことを願っております。